



松小だより

2月号

高松市立松島小学校

1月25日(日)早朝、家々の屋根・道路が雪で一面真っ白でした。予報で冷えるとは聞いていたもののびっくりし早めに学校へ向かいました。暖かい日差しのおかげで寒さも少し和らぎ、大勢の方々に参観・講演を聴いていただくことができました。ありがとうございました。

教育講演会「夢をもち、自分も他人も大切に」

フリーライター 川田隆一先生(東京在住 香川県出身)

「神様、あなたは僕に目をくれませんでしたね。目をくれなかった分、僕が僕の人生を好きに生きられるように応援してください。」

上記の文章は、川田隆一先生が講演最後に読まれた文章の一文です。

川田先生は、講演のはじめに「目が見えないということは当たり前のことだ。」「目が見えるというがどういうことか分からない。」と話されました。一方、「目が見えなくてもいろいろな情報を得ることもできる。例えば、松島小学校について事前に知ることができた。」とおっしゃり、携帯電話を使って松島小学校ホームページの学校紹介部分をコンピュータ音声で聞かせてくださいました。また、児童が興味・関心を引くようクイズを出しながら話を進めてくださいました。(講演時間の終了はどうやって分かるのか? ①腹時計で感じる。②校長先生が時間を伝える。③五感で感じる。答え…腕時計のふたが開き、軽くさわることにより時間を知ることができる。)



【大勢の方々が聴いてくださいました】

ご自分の子どもの頃の様子や生活する上で困ったこと、バリアフリー社会の実現をめざし、今後取り組んでいきたいことなどを点字ノートをととても速いスピードで指でおいながら多くのことを話してくださいました。あっという間に1時間が過ぎてしまいました。

子どもたちは、川田先生から、「クイズや質問については拍手で答えてくれるとよく分かります。」と教えていただき、自分の思った答えにしつかりと拍手していました。これまでの自分の行動を振り返るとともに、これからの生き方を考えるいい機会となりました。



【点字ノートを触りながらのお話】

保護者及び児童の感想をご紹介します。【保護者】

- 視覚障害をお持ちの方が生活する上で不便な点等、今日お話をうかがい初めて知りました。(自販機の飲み物の種類表示がないなど)今後、視覚障害がある方に接する機会があれば、自然な形で何かお手伝いできればいいなと思いました。
- ハンディがあっても頑張っている姿勢に心を打たれました。自分も頑張っていこうと思われました。参加して良かったです。
- 教育講演会では、とても親しみやすく分かりやすいお話でとても良かったです。心ない一言で相手がどれだけ傷つくのか、軽はずみな行動がいかに周りに迷惑をかけているか。逆に何気ない言葉や行動で、どれほど救われる人がいるかなど。子どもにもしっかりと教えていこうと思いました。
- 今年の教育講演会は、子どもと一緒に参加ができ川田さんの講演内容も大変感動したので良かったです。来年も親子で聞けるような講演会にさせていただくと有り難いです。

【児童】文章が長いため一部のみ紹介させていただきます。

○ ぼくはあまり障害をもつ方を意識していませんでした。川田隆一さんの話を聞いて、障害をもつ人々に迷惑をかけてしまったと思いました。障害をもつ方々のつらさは、体についた傷ではなく、悪口などでいわれて心に残った傷だと知りました。自分に当てはめてみてもそのことはよく分かりました。そんな時、自分のことを助けてくれた人への感謝を忘れず、自分もこれからは行動したいです。(5年生)

○ 私は川田さんの話を聞いて、これからやっていきたいことがあります。一つは、川田さんもおっしゃっていたように困っている人や助けが必要かなと思ったとき進んで手助けができるようになります。また、川田さんが強調されたように何があっても夢をもちたいです。たとえ、みんなと違っていても自分の個性だから気にせず夢をもち他人や友達、自分も大切にしたいです。今日の講演を通して、これから自分の夢をもち、自分も他人、友達、家族を大切にしたいです。(5年生)

○ 私がもし生まれたときから目が見えなかったら、自分の顔はどんなだろう。お母さんやお父さんの姿は？友達の顔は？と全てのものがどんなのか不思議に思ったと思います。それに自分の人生に絶望すると思います。川田さんが言った「目が見えるっていうことがどんなことか分からない」と言った時、私も見えないということがどういう意味かすぐに分かりませんでした。

これから先、きっと医療がすごく発展し、目が見えない人や耳が聞こえない人、体が不自由な人々がもつ障害が軽くなっていくことを信じています。私も今はなかなか恥ずかしくて手助けができていませんがこれからは勇気をもってしたいです。そして、全ての人に優しくなりたいです。(6年生)

○ 人間は一人では生きていけない。いろんな障害をもつ人を含め、人として安全・安心に暮らせるよう、例えば、交差点には信号機があり、点字ブロックや音が出るようになっていく。私は、ルールを守って点字ブロックのところにものを置かないようにしたり、困っている人がいたら親切にしたいです。また、インターネットなど情報をのせるときに、写真の紹介などでは目の不自由な方でも分かるよう文字の貼り付けをするよう工夫をしたらいいと思います。「障害のある人に優しい」ということは「ふつうの人にも優しい」ということになると思うので、優しさをどんどん広げていきたいです。(6年生)

校舎移転まであと2ヶ月となりました

中館校舎の一部も覆いがはずされました。早いもので、校舎移転まであと2ヶ月となりました。教材・教具をはじめ多くの品々を新校舎へもっていく予定で、現在、移動品のリストアップや実物照合を進めています。3月22日に実施します「校舎お別れ会」のあと引越しの荷造りをする予定です。卒業式等大きな行事があり大変ですが保護者の方々のご協力を得ながら進めて参りたいと思いますのでご協力よろしくをお願いいたします。



【一階部分が現在より約1.8メートル高くなります】 【北館東 外構工事の様子】